



①目標だった全国の舞台で力強く放水 ②岩手県代表として堂々の入場行進 ③④⑤号令とともに機敏な操法を展開 ⑥スタンドから熱い声援を送った町の応援団 ⑦閉会式を終え、町の応援団に感謝する6分団の選手たち



第22回全国消防操法大会



第6分団が3度目の「消防団の甲子園」に挑む

日ごろの訓練により培った消防操法技術を競い合う「消防団の甲子園」第22回全国消防操法大会（総務省消防庁、日本消防協会主催）は11月12日、愛知県蒲郡市の蒲郡ポートレース場駐車場で開かれ、岩手県代表として第6分団（小田）が出場しました。第6分団は今年度の町大会、支部大会、県大会を制覇し、平成14年、18年に続く3回目の全国大会。

大会には、45都道府県（宮崎県と鹿児島県は口蹄疫の影響で出場辞退）からポンプ車の部、小型ポンプの部それぞれ23隊が出場。消防関係者や応援団など約5000人が訪れ、会場は熱気に包まれました。

町からは選手や応援団など73人が現地入り。開会式では、応援団が見守る中、長岡宏葛巻町消防団長を先頭に第6分団の選手らは、堂々の入場行進をしました。

23隊中20番目に競技を開始。長く厳しい訓練、支えた家族や地域関係者の思いをのせ、集大成の操法を展開しました。選手は気負うことなく競技に挑み、全力を尽くしましたが、残念ながら入賞はありませんでした。

これまで全国大会に出場した分団

全国大会は2年に一度開催されます。ポンプ車の部と小型ポンプの部が交互の出場となるので次回、24年度岩手県代表が出場できるのはポンプ車の部です。

全国大会	小型ポンプの部	順位表
昭和57年	第17分団（田野）	小型ポンプ
平成10年	第9分団（元木）	〃
平成14年	第6分団（小田）	〃
平成18年	第6分団（小田）	〃
平成22年	第6分団（小田）	〃

全国大会	小型ポンプの部	順位表
優勝	兵庫県	ふくさきちよう 福崎町消防団
	岡山県	わけちよう 和気町消防団
準優勝	広島県	ふくやまし 福山市消防団
	新潟県	にいがたし 新潟市消防団



地元の音楽隊によるアトラクション



出場する消防団ののぼりが立ち並ぶ



大会会場のメインゲート